






# 「高松市入退院支援ルール」チェックシート 《医療と介護のスムーズな連携のための7か条》

記入日      年      月      日

| チェック項目 |   | いつも<br>できている  | やや<br>できている   | どちら<br>とも<br>いえない   | やや<br>できていない  | いつも<br>できていない   |
|--------|---|---|---|---|---|---|
|        |   |  |  |  |  |  |
| ①      | <b>【顔の見える関係をつくりましょう】</b><br>顔と名前を知って、一緒に考え、悩み、笑顔で仕事をして、信頼できる仲間を増やしましょう。   |   |   |   |   |   |
| ②      | <b>【社会人としてのマナーを守りましょう】</b><br>第一印象は大切です。身だしなみに気をつけましょう。情報のやりとりを始める前に、自分の所属名、名前(フルネーム)、職種などをはっきり正確に伝え、相手方の名前、職種などを確認しましょう。電話連絡の際には、用件を簡潔に伝えるために、あらかじめ内容をまとめて連絡を取りましょう。 |   |   |   |   |   |
| ③      | <b>【時間を意識しましょう】</b><br>自分の用件が、どれくらい急ぐ必要があるのか判断することが重要です。関係する医療施設や介護事業所等の相手方が落ち着いて対応できる時間帯や曜日なども日頃から確認しておきましょう。  |   |   |   |   |   |
| ④      | <b>【担当者が不在でも対応できる体制づくりをしましょう】</b><br>緊急時や担当者不在時の連絡体制を事業所ごとに整理しておきましょう。  |   |   |   |   |   |
| ⑤      | <b>【お互いの職種の専門性を理解し、尊重しましょう】</b><br>専門職として他の職種と連携するためには、お互いの立場や役割、専門性をよく理解することが大切です。相手はどんな情報が欲しいのか、考えながら伝える努力をしましょう。   |   |   |   |   |   |
| ⑥      | <b>【専門用語は使わずに、わかりやすい言葉を使いましょう】</b><br>他の職種と話すときは、専門用語を使わず、わかりやすく伝えましょう。共通理解が図れているかを確認することも重要です。文章を書くときは、箇条書きにするなど、端的にまとめ、誰が見てもわかる見やすい文字で書くことを心がけましょう。                 |   |   |   |   |   |
| ⑦      | <b>【日常的な情報交換を忘れずにしましょう】</b><br>感染症対策に留意し、医療・介護の多職種向けの研修に参加するなど、日頃から積極的に多職種と交流を図りましょう。   |   |   |   |   |   |